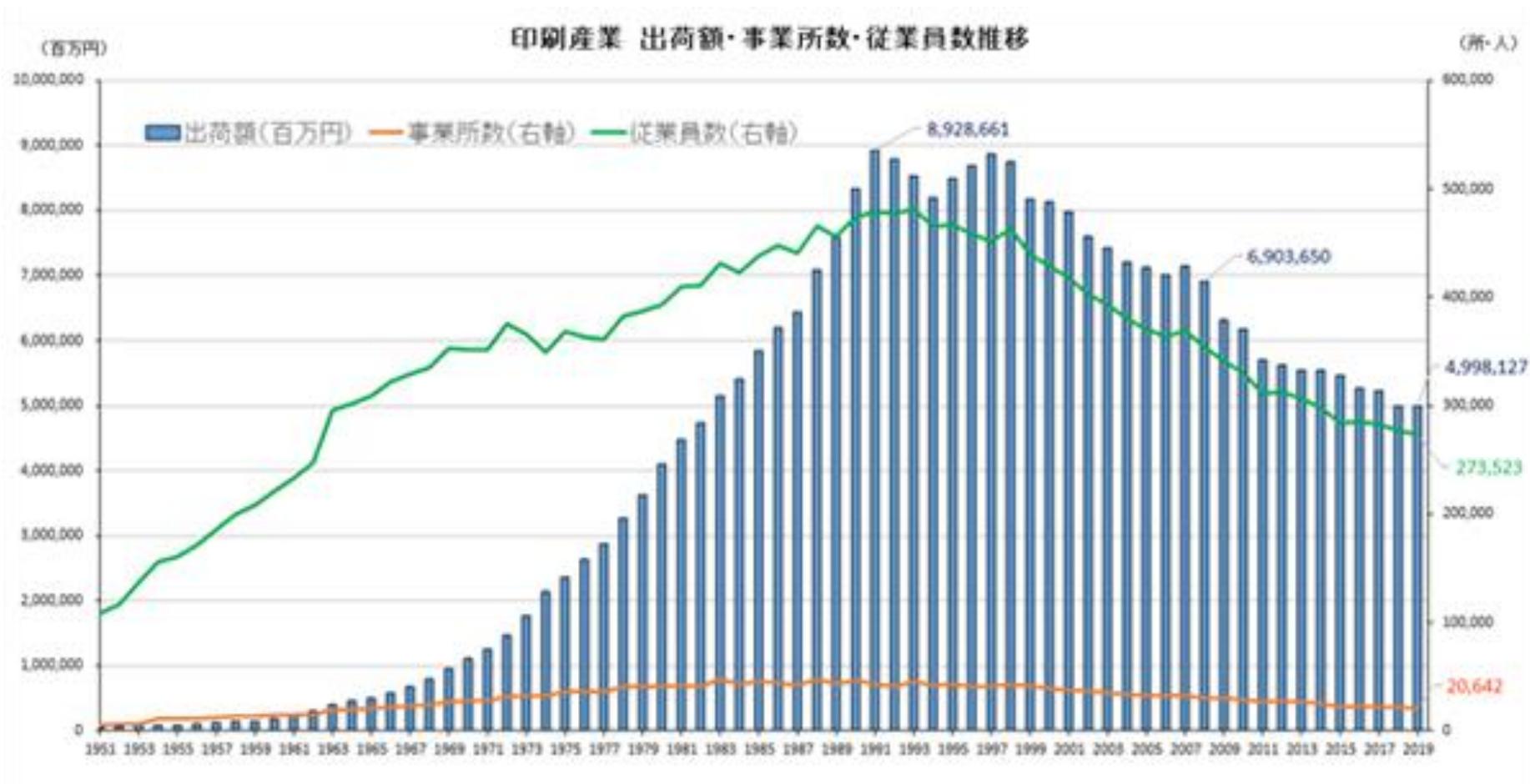


印刷産業の規模と推移

経済産業省の令和3年経済センサスによると、2020年暦年の印刷業（全事業所）の製造品出荷額は4兆1758億7200万円となった。内訳はオフセット印刷（紙に対するもの）が3兆798億7300万円、紙以外のオフセット印刷が3376億5500万円、紙以外の印刷が7583億4300万円などだった。（2024/04/02調査）



2021年の国内印刷通販市場規模は前年比102.3%の1,237億円。デジタルトランスフォーメーション化の浸透と共に好調に推移する国内の印刷通販市場は、縮小基調の一般印刷市場を支えている。



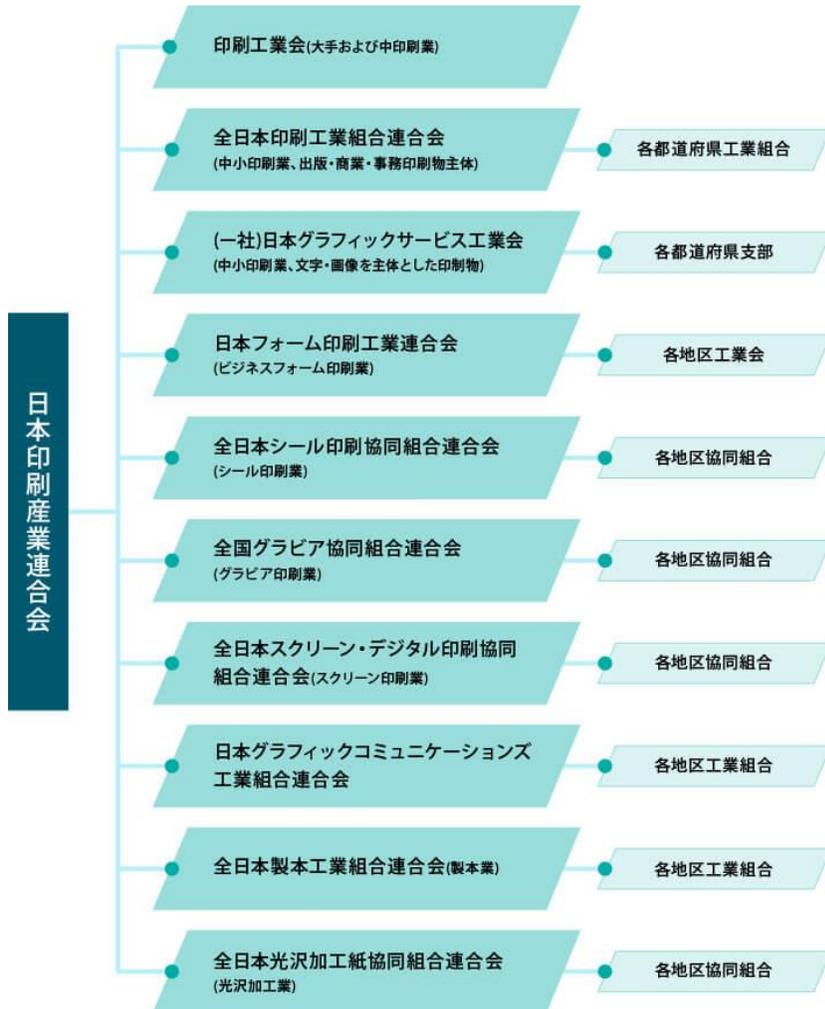
矢野経済研究所調べ

注1. 印刷通販事業者の事業売上高ベース

注2. 2022年見込値

印刷は“n x n”の多様なものづくり産業…

商品が同じでのサイズやデザイン、数量は発注の時々に常々違うダイナミック（動的）な産業



この主要セグメントの周辺に、サプライ・加工などさまざまなサービスが存在する。

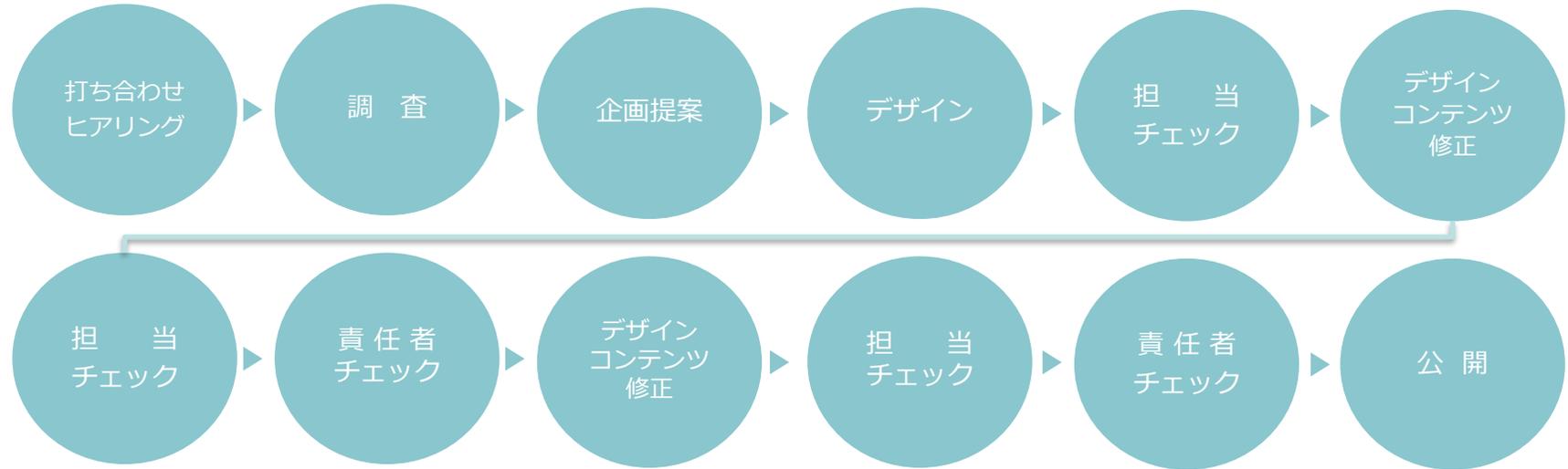
- ① 製版作成
- ② 製本・加工
- ③ 用紙・インクなどサプライ
- ④ キットティングなどの内職
- ⑤ 物流（横持ち・アウトバウンド）

一般的に印刷物の製作は、
版の作成（プリプレス）→印刷（プレス）→製本（ポストプレス）→製品化→物流の工程をたどり、
顧客の指定する倉庫・物流と連携する。

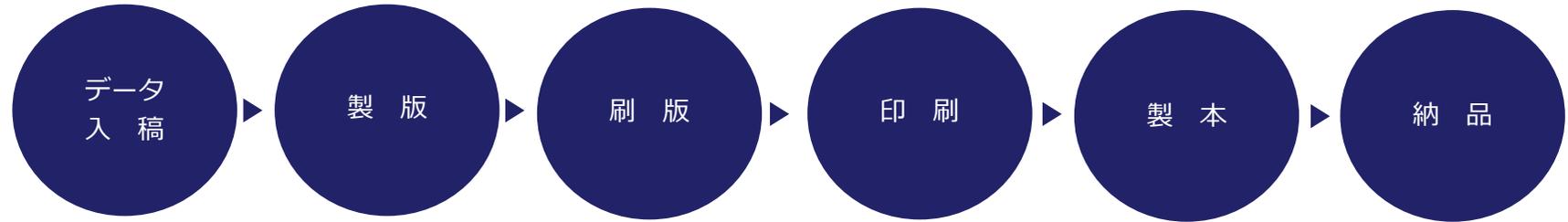
一般的なコト・モノの流れ



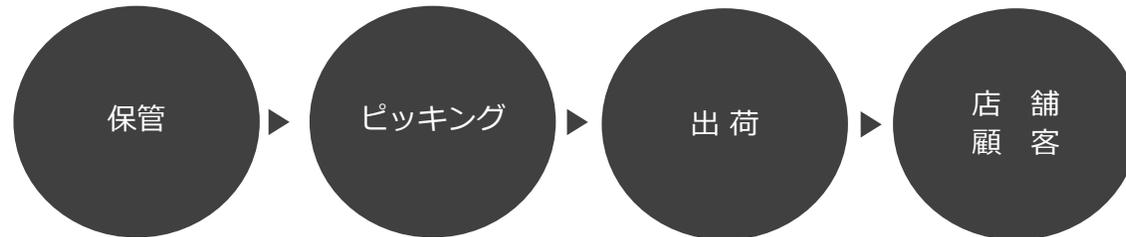
企画・制作段階で...



印刷工場で...

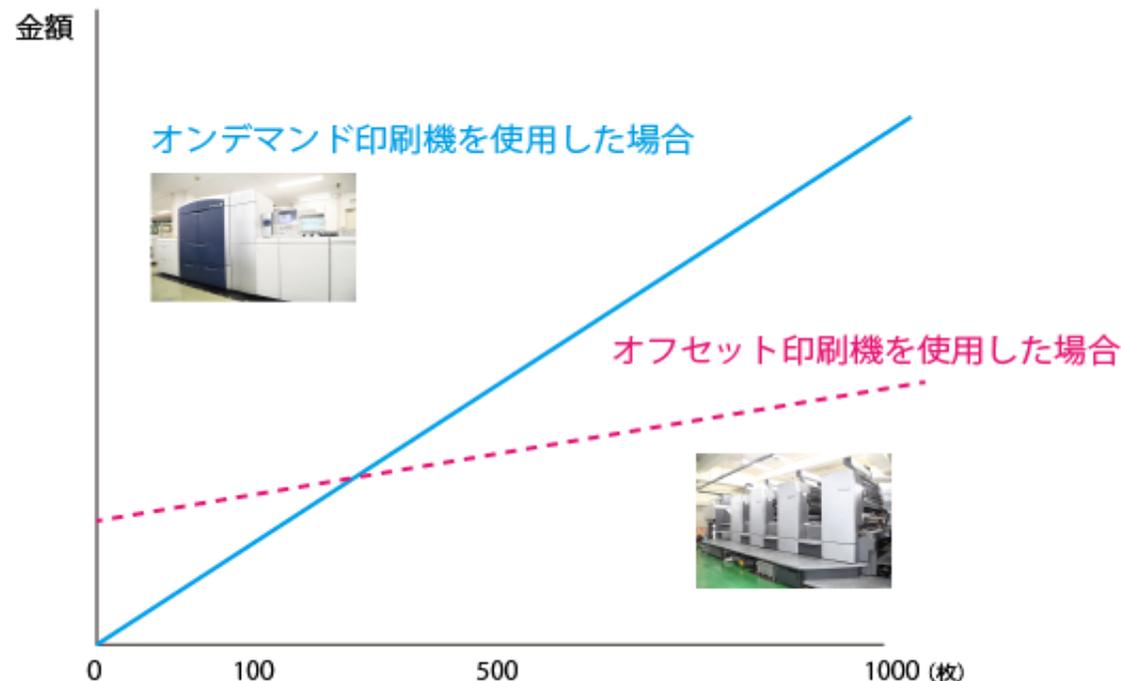


倉庫・物流もいれたら...



- ※ 印刷業界も社会のIT化と伴走し、ハード・ソフト・経営運営など、個別のデジタル化は進めてきている
- ※ “ものづくり”に必要なハードウェアに関しては、ある一定の成熟度に達している
- ※ ハードのデジタル化に伴い、印刷用データを標準化ニーズが高まり、PDFがその役割を担っている
- ※ デザイン領域のソフトウェアも、ワークフローやクラウドサービスの利用が高まり、効率化が進んでいる
- ※ それぞれのデジタル化を進めてはきているがアナログ・デジタルの二項構造ギャップは埋まっていない

	オフセット	オンデマンド	デジタル オフセット
大部数	○	△	△
小部数	△	◎	◎
絵柄の綺麗さ	◎	△	○
特殊印刷	×	○ 可変印刷	◎ 白インク、透明インク、 特殊用紙



※部分最適化されて来た基礎を整理し、全体最適への準備を実施

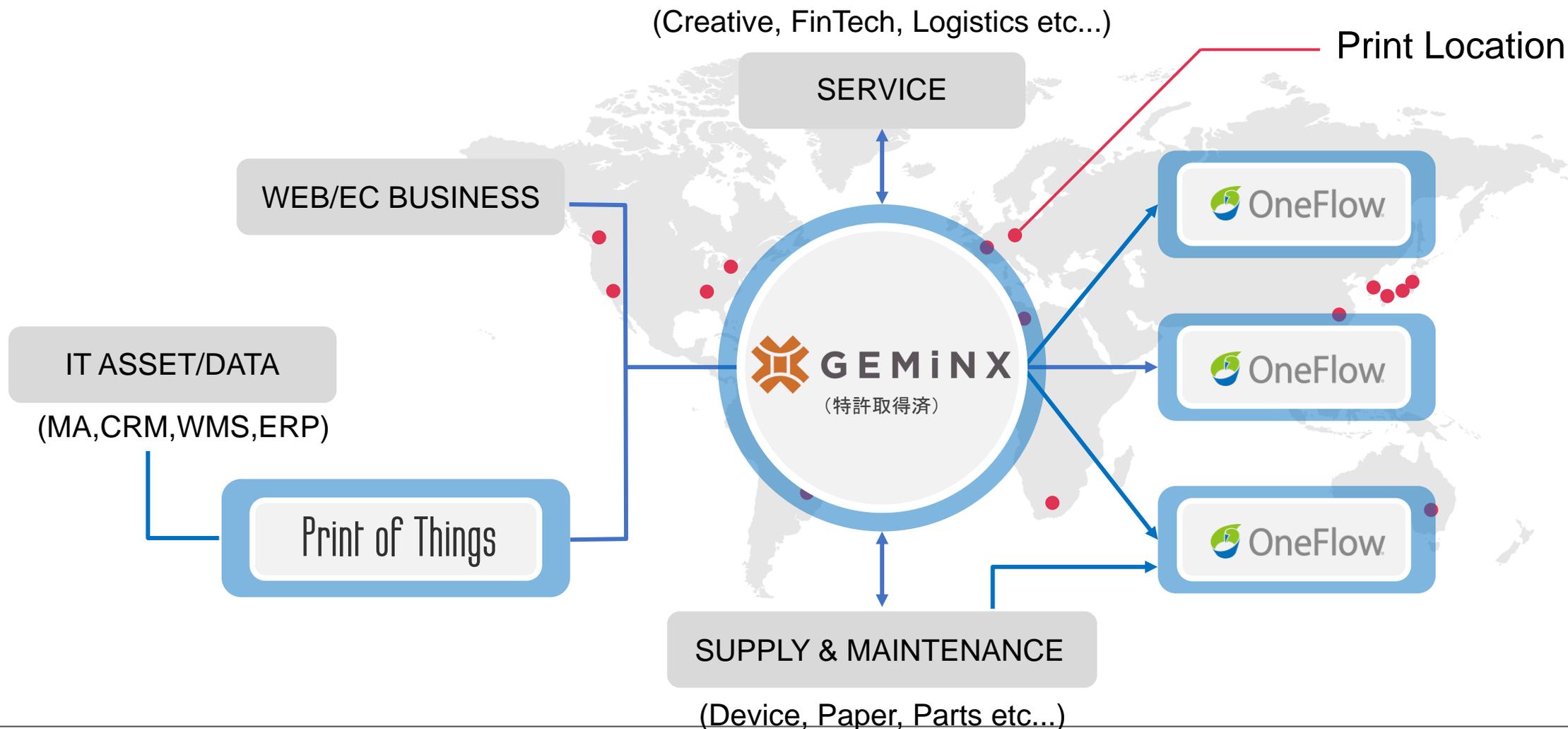
- 市場の縮小を受け入れ、デジタル印刷を中心とした“ものづくり”への変化を推し進める
- デジタル印刷を正しく稼働させるために必要なデータ・フォーマットを完成させる
- コンテンツ制作領域の未来を把握し、コネクティビティーと品質を高める
- “ものづくり”を標準化し、SLAを担保できる状態をつくる
- インターネットを活用し、顧客のビジネスとのコネクティビティーを実現する
- サプライヤーとのデータ連携でサプライ輸送効率を高め
- 顧客のビジネスデータと連携し、発注・管理ストレスを還元・インセンティブに転換
- 倉庫・物流などのデータと連携し、保管・物流・廃棄・管理コストをインセンティブに転換
- 顧客のIT資産へデータを提供し、ビジネスのDX化に必要なビッグデータを支える
- ストレスコストを利益へ転換する手段を探り出し、DXを加速させる

goof が提供するプラットフォームビジネス



※ 印刷に必要な標準化が加速させ、SLAの提供と自動化を推進する

※ 適時・適地・適量・適切で、社会・経営効果を助長するインフラを構築する



サービス提供実績



Print of Things

for WEB SERVICE

for E-COMMERS

for SUSTAINABL



for DIRECT MARTING



など、累積 70ブランドのMA/CRMと連携

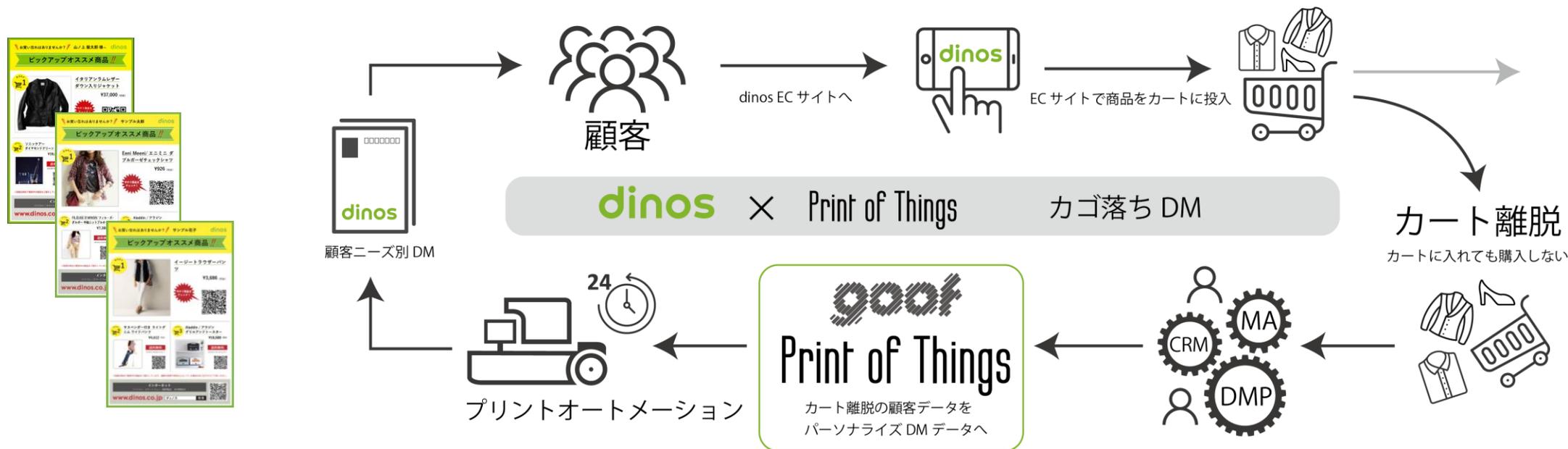
連携可能MA/CRM



Print of Things for E-COMMERS 事例 (2019DM大賞 グランプリ獲得)

メール送付のみの顧客と比較して購入率が 20% アップ!

データドリブン主導の新たなプリント媒体コミュニケーション (※紙xデジタルを実現したイノベーション)



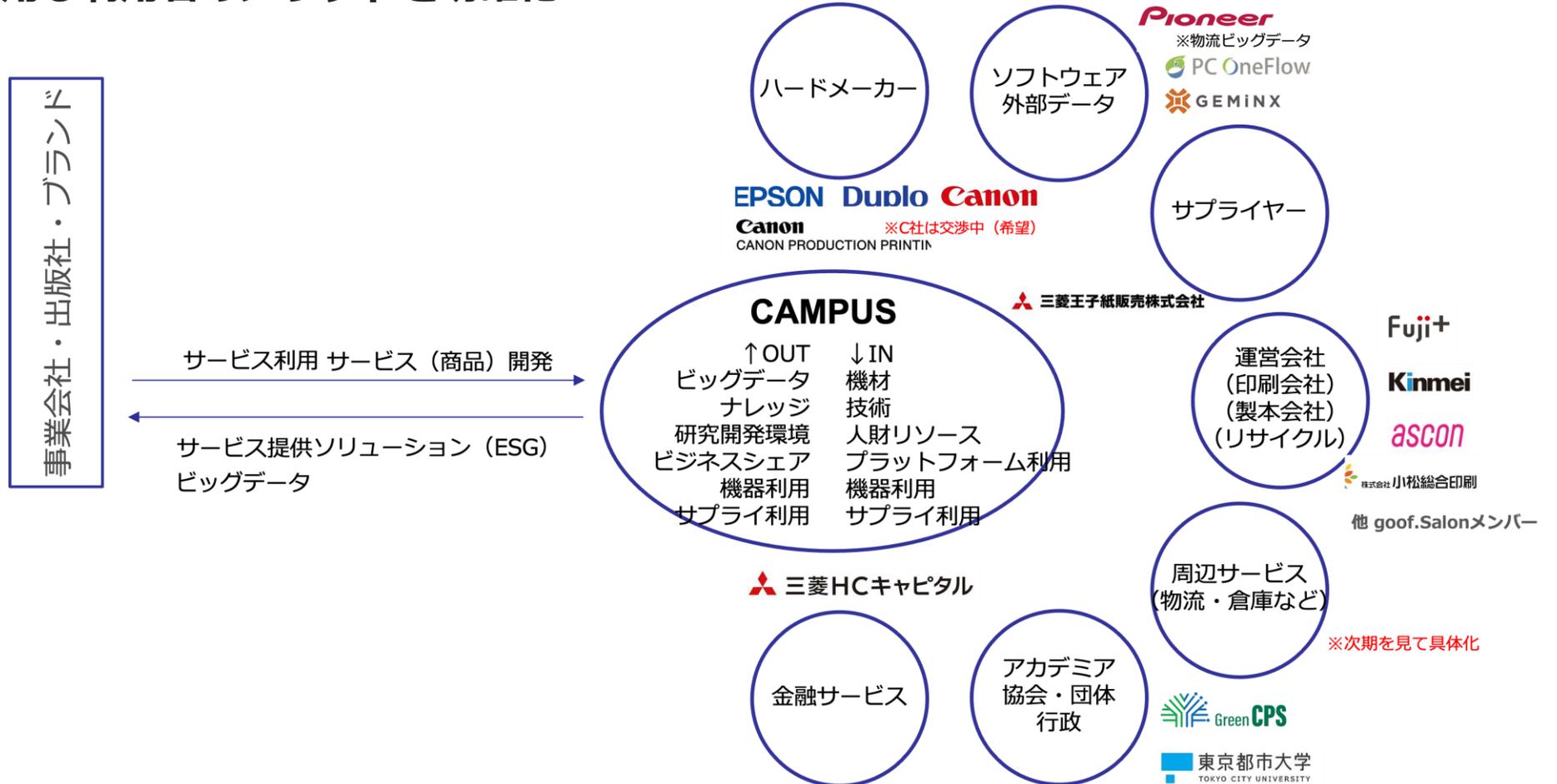
“もしも、DMの歴史という本があったら、年表の2018年のところには、この仕事が載るでしょう。”

博報堂ケトル Co-CEO 木村 健太郎

goof CAMPUS (SAND BOX) プロジェクト



- ✓ 印刷という手段を提供するために必要な全ステークホルダーが集結
- ✓ 定量化を実践し、DX・SXに必要な要素を正確に洗い出す（事業機会向上）
- ✓ それぞれの経営効果に必要なデータ交換プラットフォームの構築
- ✓ リアルビジネスを活用し利用者のメリットを明確化



- 印刷は社会にとって必要な手段→DX化で豊かさを追求する価値はある
- 既成を乗り越え、印刷を利用する全ての方々にとって必要とされるインフラに成長できれば、残る印刷は人・社会を彩る力が持てる
- 未来を担う学生と交流し、未来に必要な感性を磨きたい
- この感性を気付きにかえ、自身の“こだわり”を見直したい
- 未来の世代が成長した時に、温故知新を実践できるような資産を残したい